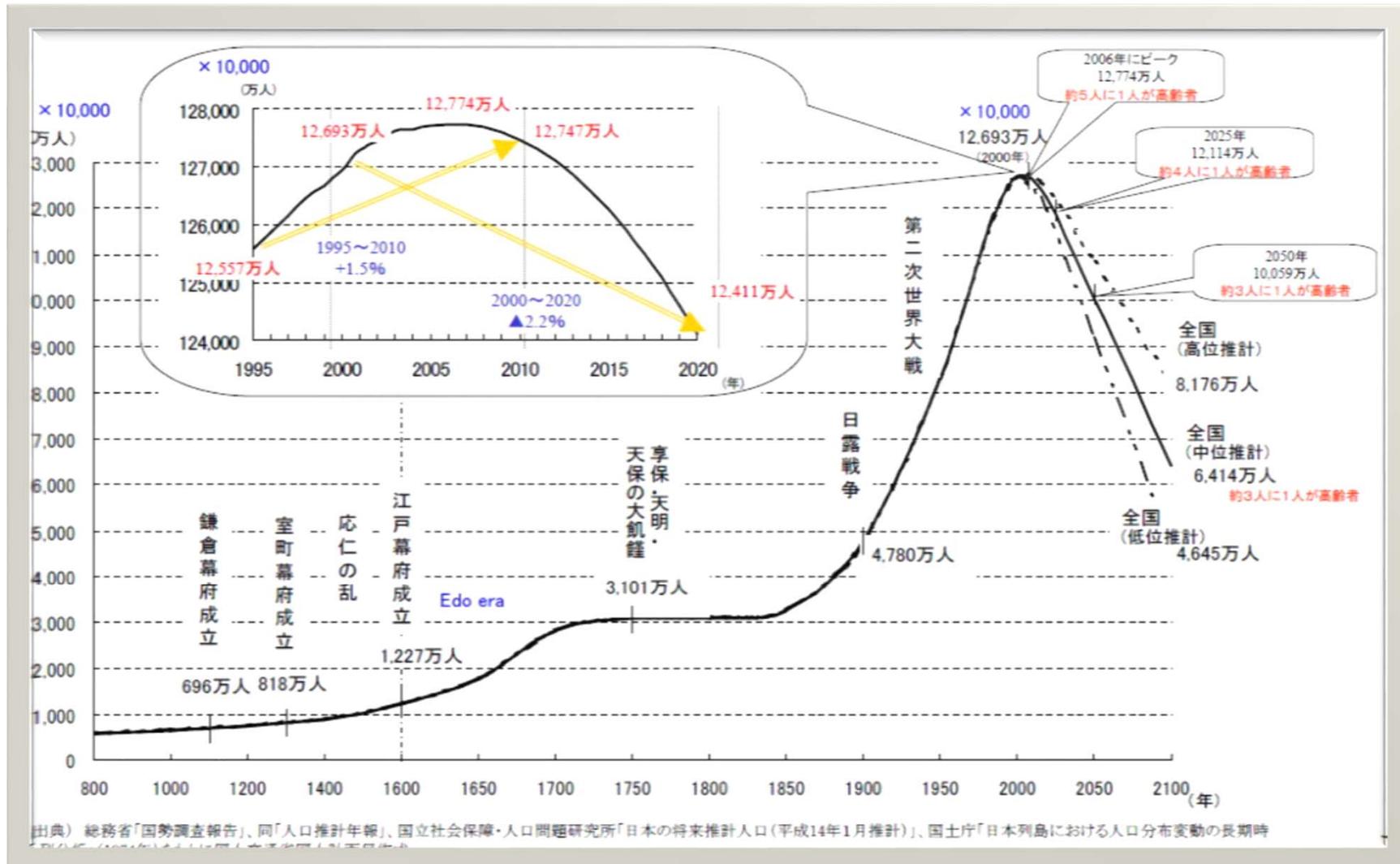


人口ビジョンと総合戦略



総合戦略策定の背景

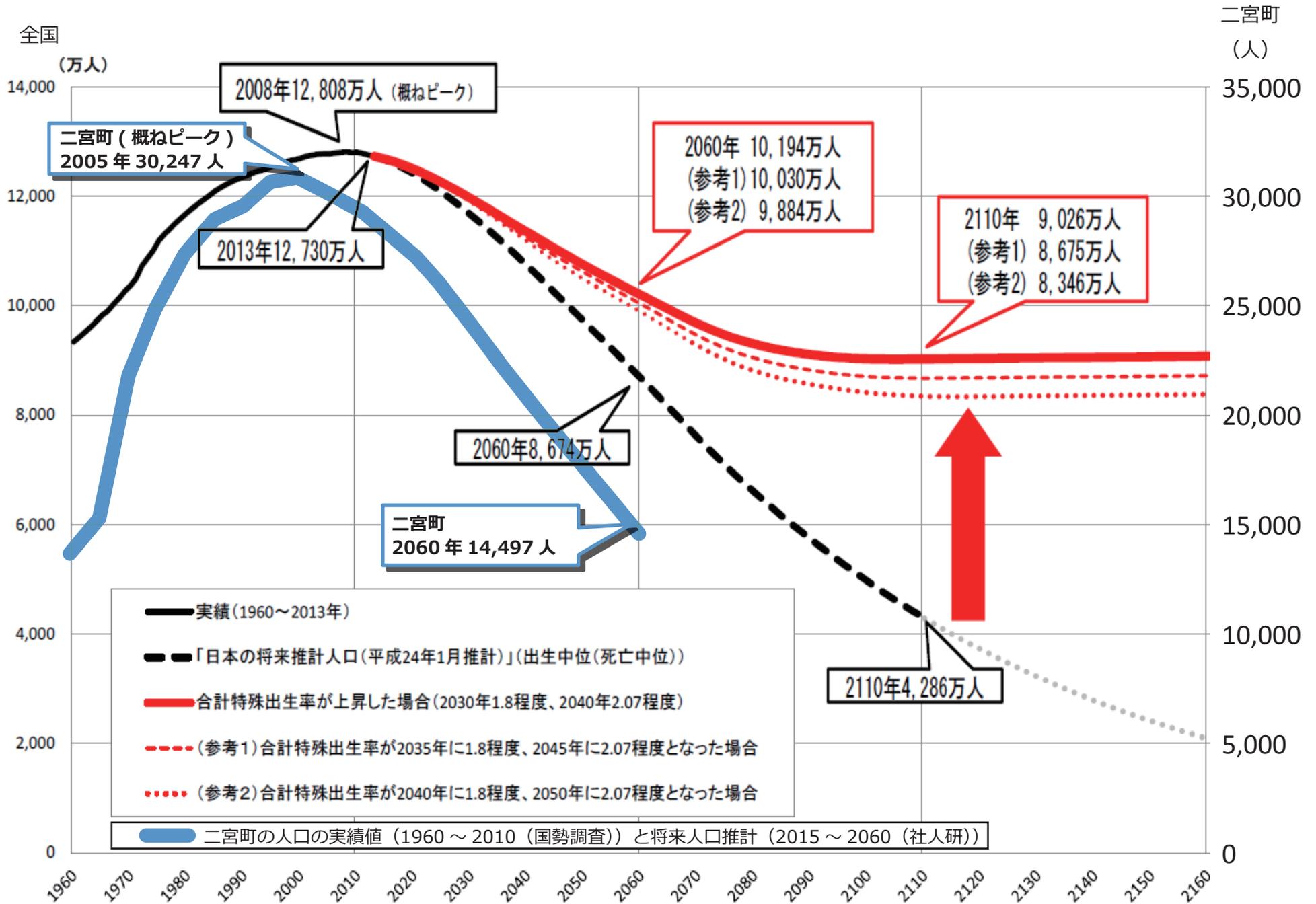
まち・ひと・しごと創生とは

(1) まち・ひと・しごと創生が目指すもの

- 2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。
- 人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。
- 国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。
- まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。

(2) なぜ、まち・ひと・しごと創生か

- 人口減少問題は地域によって状況や原因が異なる。
- 大都市における超低出生率・地方における都市への人口流出＋低出生率が日本全体の人口減少につながっている。
- 東京一極集中を是正し、若い世代の結婚・子育て希望を実現することにより人口減少を克服。
- 地域特性に応じた処方せんが必要。



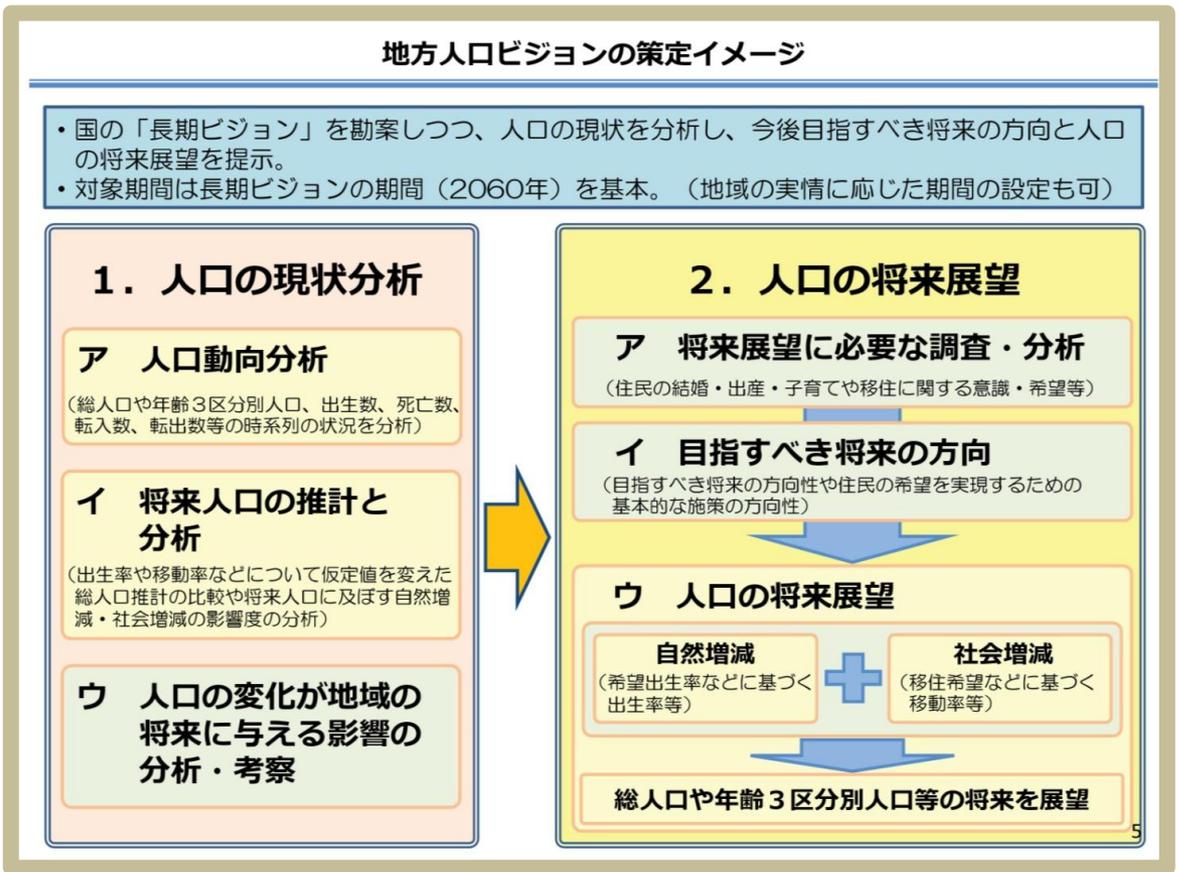
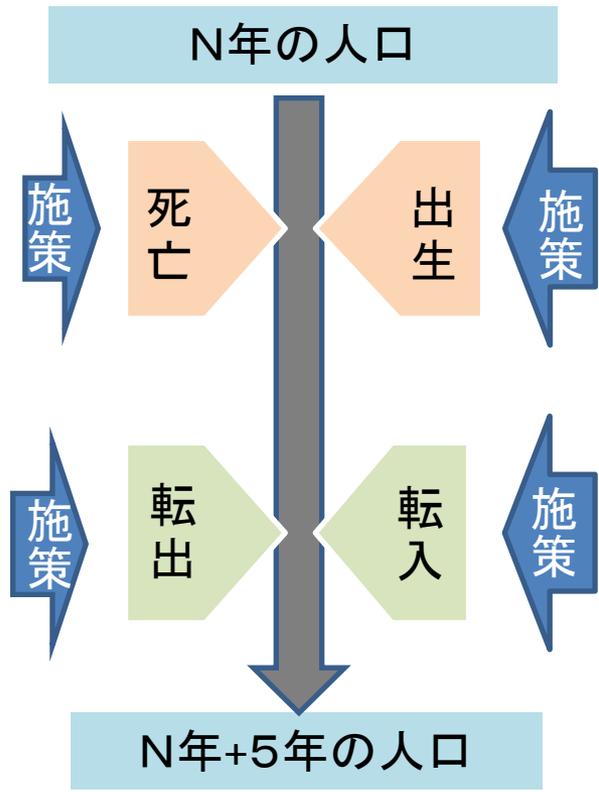
1、何を描くか？

- ①人口ビジョン 現状分析と将来人口推計 人口の将来展望(2060)
- ②総合戦略 基本目標と基本的方向(4つの柱)
- 具体的な施策(政策パッケージと国による財政的支援)
- 重要業績評価指標とPDCAサイクル、外部評価



2、人口ビジョン

- ☑ 将来の人口展望をどう描くか？
 - ☑ 将来人口
 - ① 自然増減（出産、死亡）
 - ② 社会増減（転出、転入）
 - ☑ 施策
 - ① 出生率⇒結婚・出産・子育て、生残率⇒長寿、健康寿命
 - ② 転出者数⇒転出抑制、転入者数⇒転入促進
- 担当セクションでは、どんな対策を講じる必要があるか？



3、総合戦略

- ①基本目標⇒5年で達成したい、できるだけ具体的な数値
 - ②基本的方向⇒戦略＝目標を達成するためにやるべきこと
 - ③具体的な施策⇒戦術＝施策、事業
 - ④施策ごとの重要業績評価指標（KPI）⇒数値指標
- PDCAを意識して描く！

地方版総合戦略において記載する事項の参考例①

※ 基本目標や重要業績評価指標（KPI）の参考例は、国の総合戦略における基本目標・重要業績評価指標のほか、地方公共団体が総合計画等において使用している実例も含め、参考として記載しているもの。以下同じ。

1. 地方における安定した雇用を創出する

(1) 基本目標【参考例】

雇用創出数：5年間で●●人 就業者数：5年間で●●人

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向【参考例】

- 地域の産業構造や自然環境等を分析した上で、農業や観光業など、雇用機会の確保や創出につながる地域の特性を生かした産業政策に取り組む
- 多様な知識や経験を有する人材の大都市圏からの環流や、潜在的な労働供給力の活用も含めた地元の人材の育成・定着などを通じて、地域産業を支える人材の確保を図る 等

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標【参考例】

	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）
地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	成長分野において中核企業となり得る企業に対する集中的な支援（経営戦略策定、商品開発、販路拡大等への支援）	支援によって中核企業化した企業数：●●社
地域産業の競争力強化（業種横断的取組）	認定した新規創業者に対する経営アドバイスや融資等の支援	支援件数：●●件
	創業者の資金調達の円滑化（無担保・無保証人の融資）	新規融資件数：●●件
	ニッチトップ企業に対する支援（連携先の紹介、研究開発・事業化への助言等）	支援対象企業数：●●社
地域産業の競争力強化（分野別取組）	海外でのプロモーション活動等の強化	外国企業の誘致件数：●●件
	人材育成・IT化・物流の効率化の推進等を通じたサービス産業の生産性向上	第3次産業の就業者1人当たりの総生産額：●●円
	農作物の新たなブランドの育成・認証とPRの推進	農業産出額：●●円

4、国の全体像から地方版を想定する

まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像

